

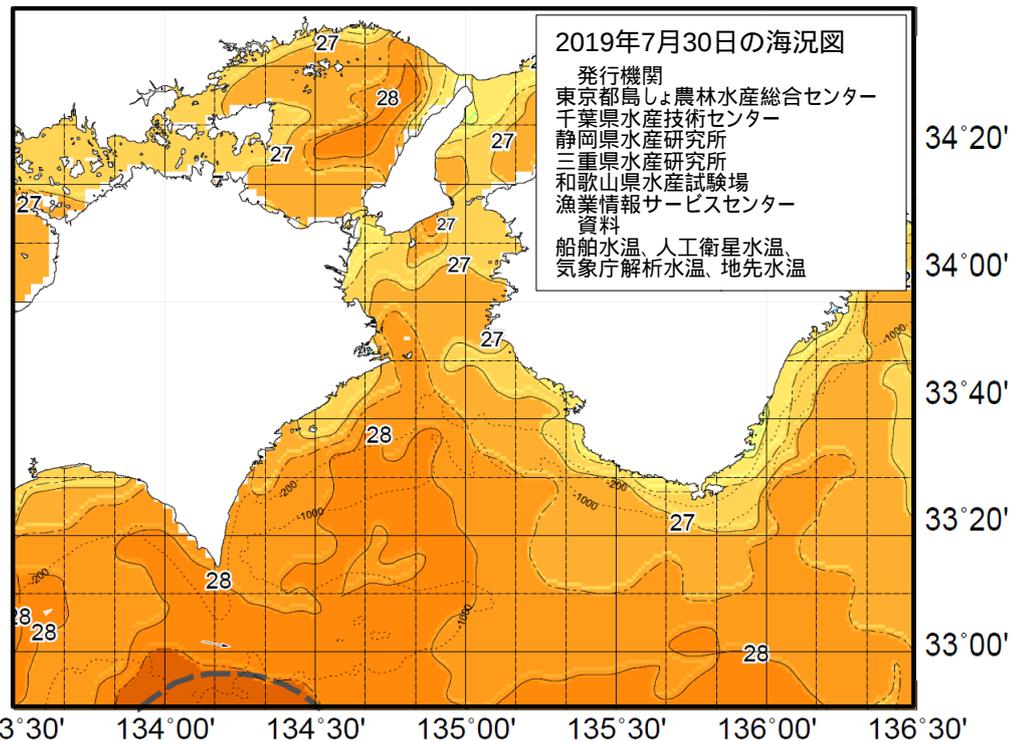
海況

1. 周辺海域の水温 (7月24日～30日)

黒潮は、25日から30日にかけて室戸岬と潮岬の沖合で大きく流路が変化した。30日には室戸岬と潮岬の沖合でM字型に蛇行し、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「離岸」になっている。海部沿岸から紀伊水道に27～28 台の暖水波及がみられる。

30日現在の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸いずれも26～28 台となっている。

黒潮の表面水温は28～29 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸: 65NM～
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸: 86NM～

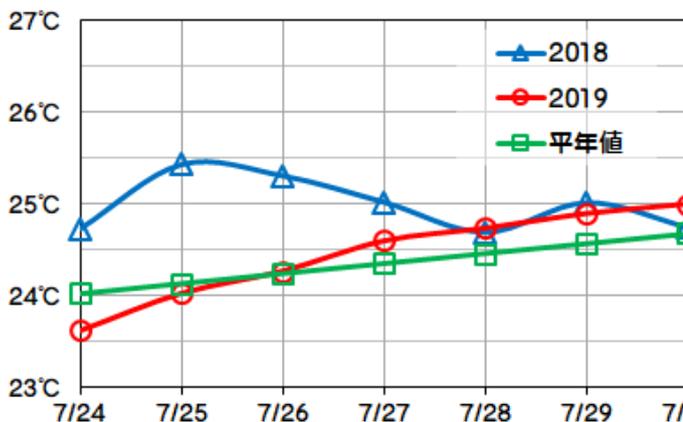
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温 (7月24日～7月30日)

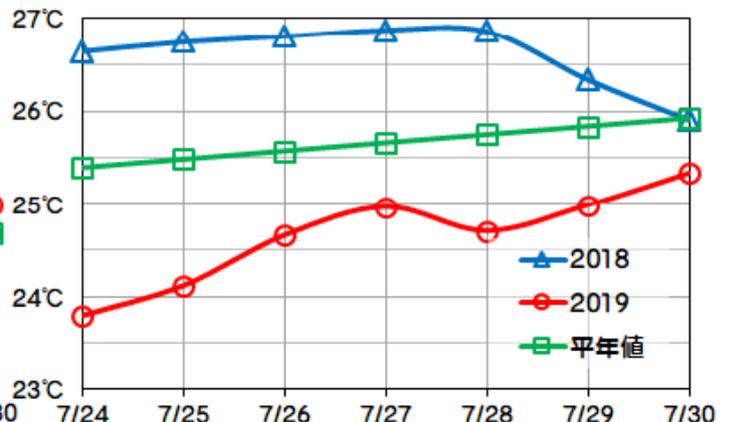
鳴門地区の水温は、「平年並み」の23.6～25.0 で、27日以降は平年値を上回っている。

日和佐地区の水温は、もっぱら「やや低め」の23.8～25.3 で、おおむね右肩上がりて推移した。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (7月31日～8月6日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「離岸」から「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の25 台、日和佐地区では「平年並み」の25～26 台で推移する見込み。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが増えて37.5ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが大きく減って0.5ト、イサキが大主体に0.4ト水揚げされた。

延縄では、ハモが6.0ト、タチウオが特大主体に2.3ト、サワラが0.7ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大主体に1.7ト、ブリ（めじろ・はまち級）が増えて1.0ト、マアジが小小主体に0.5ト、アイゴが増えて0.4ト、カンパチが増えて0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて11.4ト、えそ類が増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが0.9ト、イサキが0.1ト水揚げされた。

延縄では、カサゴが大きく増えて0.2ト、アカムツが大きく減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが大きく減って1.1ト、マアジが大きく増えて小小主体に0.8ト、ウルメイワシが大きく増えて0.5ト、かます類が大きく増えて小小主体に0.4ト、マサバが0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	37,500	500		↗
	釣り	28	タチウオ	488	17		↘↘
		22	イサキ	393	18	大主体	→
	延縄	51	ハモ	5,983	117		→
		67	タチウオ	2,280	34	特大主体	→
		42	サワラ	657	16		↗↗
	小型定置網	25	イサキ	1,669	67	大主体	→
		25	ブリ	970	39	めじろ・はまち級	↗
		23	マアジ	474	21	小小主体	→
		19	アイゴ	365	19		↗
		29	カンパチ	286	10		↗
		28	マダイ	255	9		↗
		30	カワハギ	147	5	大主体	→
	底びき網	40	ハモ	11,406	285		↗
28		えそ類	181	6		↗	
8		小えび類	121	15		↗↗	
19		マダイ	107	6		↗	
海部沿岸	釣り	19	タチウオ	864	45		→
		20	イサキ	128	6		→
	延縄	17	カサゴ	209	12		↗↗
		12	アカムツ	196	16		↘↘
	小型定置網	10	マイワシ	1,129	113		↘↘
		28	マアジ	803	29	小小主体	↗↗
		17	ウルメイワシ	469	28		↗↗
		18	かます類	364	20	小小主体	↗↗
4	マサバ	200	50		→		